

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~8日	1月 ~15日	1月 ~22日	1月 ~29日	2月 ~5日	2月 ~12日	2月 ~19日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	13	18	13	17	21	13	13
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	21	30	29	27	36	24	22
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	2	2	0	2	4	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	4	4	5	3	5	5	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	2	4	1	0	2	0	2

*その他の1件はアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第7週(2月13日~2月19日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		2			2		1
三類	0	発生なし	0							
四類	1	A型肝炎	1							1
五類全数	6	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1						
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		梅毒	3				3			
		麻しん	1		1					

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東 … 竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部 … 三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部 … 三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第7週 2/13～2/19)

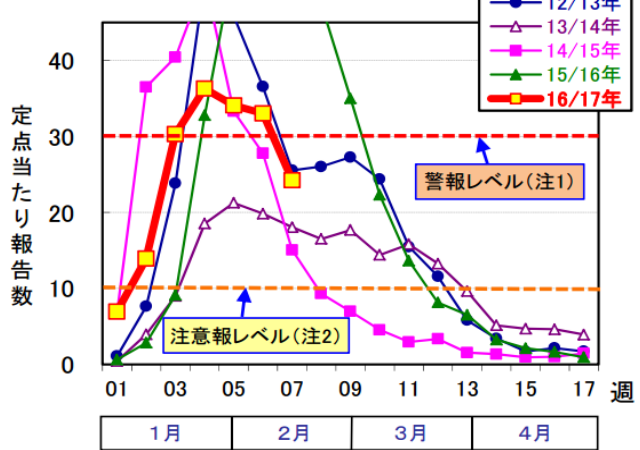
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり24.2人と前週よりやや減少し、警報レベル(注1)を下回りました。流行のピークは過ぎたと考えられますが、まだ注意報レベル(注2)を超えています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第7週に29件発生し、依然として報告が続いているため、引き続き健康管理に十分注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を徹底しましょう。

また、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が293人、B型陽性が1人報告されています。なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が1件、A(H3)型が20件、B型(ビクトリア系統)が2件検出されています。

インフルエンザの流行状況



(注1) 警報レベル: 定点当たり30.0人
(注2) 注意報レベル: 定点当たり10.0人

2. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は7件となりました。近年、全国的に報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
														↑	↓		
フィルン	インフルエンザ	896	24.22	27.16	◇	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.47				↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.31		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.35					↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.54	2.02	◇		急性出血性結膜炎	-	-	-					↔	↔	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	77	3.21	9.09	⇒		流行性角結膜炎	7	0.88	0.28							
	水痘	9	0.38	0.87			細菌性髄膜炎	-	-	-							
	手足口病	13	0.54	0.16			無菌性髄膜炎	1	0.14	-							
	伝染性紅斑	4	0.17	0.28			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23							
	突発性発しん	3	0.13	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-							
	百日咳	-	-	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-							
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02													

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	23	男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	女性(90歳代)
5	梅毒	3	7	男性(40歳代)・2人、男性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.8) 上気道炎 気管支炎	0	女	2017/01/07	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.5) 咽頭炎	16	女	2017/01/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
無菌性髄膜炎	発熱(37.9) 頭痛 髄膜炎	4	女	2016/12/06	咽頭拭い液 髄液	エコーウイルス6型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	1	男	2017/01/08	糞便	アデノウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入のみ掲載